

諮問事項

苫小牧圏都市計画臨港地区の変更（案）

苫小牧港臨港地区について、全体面積を約 1,823ha から約 1,965ha に変更する。

説明資料

1 都市計画臨港地区変更に係る経過及び理由書

(1) 臨港地区の変遷

告示年月日	告示番号	面積（ha）		
		苫小牧市	厚真町	合計
昭和 37. 3. 13	建設省告示 第 510号	172	0	172
46. 3. 9	北海道告示 第 544号	1,407	0	1,407
48. 6. 1	北海道告示 第1709号	1,426	0	1,426
60. 8. 22	北海道告示 第1458号	1,576	204	1,780
平成 14. 6. 11	北海道告示 第1006号	1,595	204	1,799
16. 4. 6	北海道告示 第 391号	1,619	204	1,823

(2) 変更概要

国際コンテナターミナルの東港区移転が決まり、既に公有水面埋立事業が終了している箇所の土地利用の見通しが明確になったことから、弁天地区（約 132.9ha）及び浜厚真地区（約 8.5ha）を臨港地区に編入するとともに、苫小牧港港湾計画の改訂に伴い、小型船溜り計画が変更となった弁天地区（約 0.2ha）及び臨港道路の線形が見直された浜厚真地区（約 0.4ha）の臨港地区編入もあわせて行い、適切な土地利用を図り港湾の秩序ある発展と円滑な管理運営を行う。

(3) 変更の理由

苫小牧東部地域については、開発計画の大幅な方針見直しにより埋立事業の竣功予定や土地利用の見通しについて不確定な要素が多かったことから、これまで東港区に係る臨港地区の変更を見合わせてきたところである。

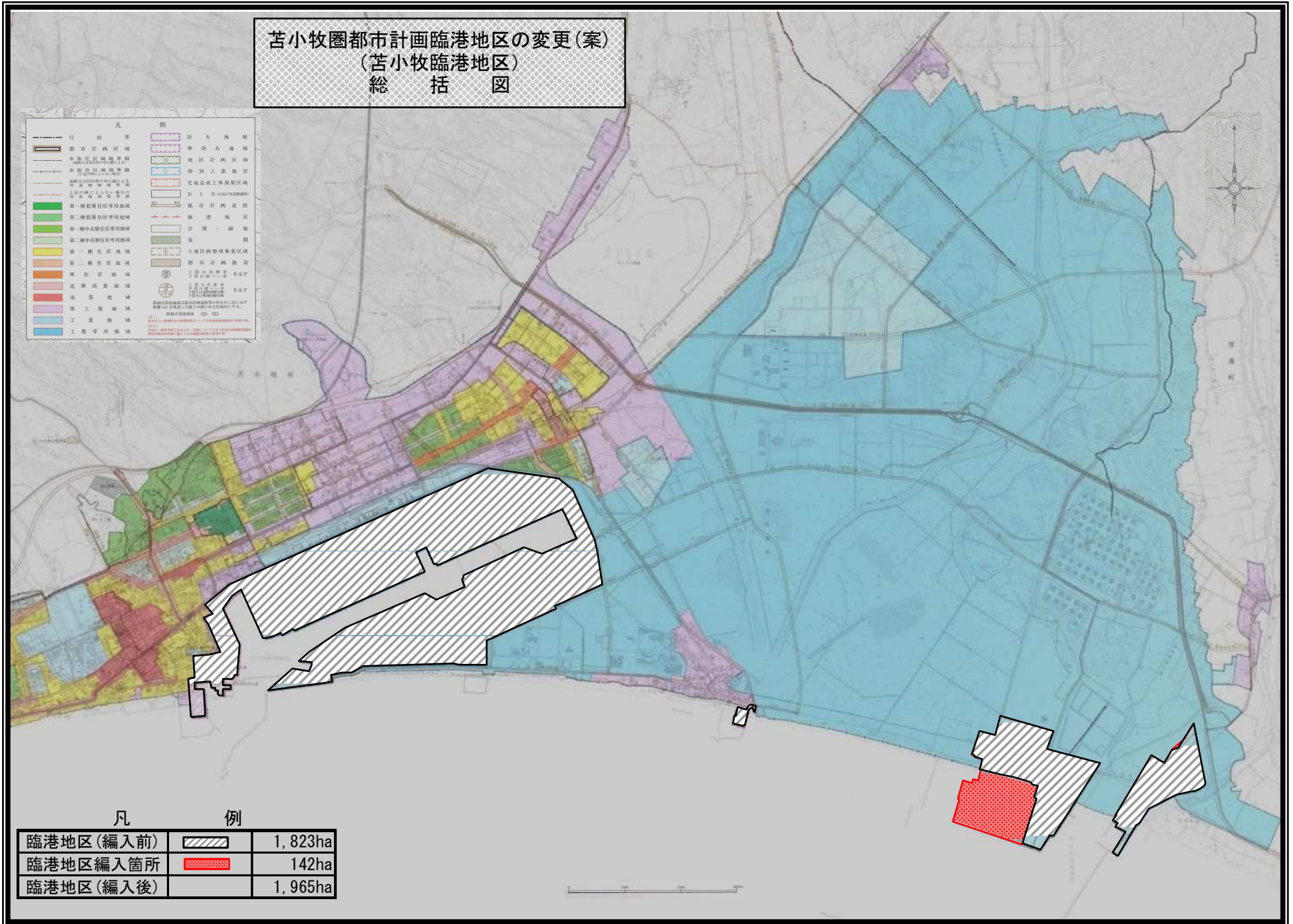
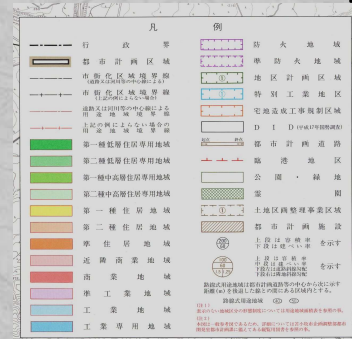
このような中、平成 19 年 12 月に苫小牧港港湾計画が改訂され、国際コンテナターミナルが西港区から東港区弁天地区への移転が決まり、東港区埋立地の土地利用の見通しが明確になったことから、この度、東港区に係る臨港地区を変更することとしたものである。

なお、東港区の既存臨港地区については、今まで分区を指定していなかったが、臨港地区内の適切な土地利用に対応するため、今回新たに編入する区域もあわせて臨港地区全体を商港区、特殊物資港区、工業港区及び保安港区に分区指定を行い、港湾の円滑な管理運営を図ることとする。

2 新 旧 対 照 表

名 称	面 積			備 考			
	新	旧	増減				
苫 小 牧 臨港地区	約 1,965ha	約 1,823ha	+142ha	(単位 : ha)			
				分 区	新	旧	増減
				商 港 区	430.7	155.3	+275.4
				特殊物資港区	54.9	21.0	+33.9
				工 業 港 区	1,363.9	1,218.2	+145.7
				漁 港 区	14.7	14.7	0.0
				保 安 港 区	84.2	40.5	+43.7
				マリーナ港区	7.5	7.5	0.0
				無 指 定 地 区	9.2	365.9	△356.7
				合 計	1,965.1	1,823.1	+142.0
※分区については、現時点での想定案である。							

苦小牧圏都市計画臨港地区の変更(案)
(苦小牧臨港地区)
総 括 図



凡	例	
臨港地区(編入前)		1,823ha
臨港地区編入箇所		142ha
臨港地区(編入後)		1,965ha

苫小牧圏都市計画臨港地区の変更(案)
(苫小牧臨港地区)
総括図(東港区拡大図)

③臨港地区の拡大 浜厚真地区 約 0.4ha

②臨港地区の拡大 弁天地区 約 0.2ha

①臨港地区の拡大 弁天地区 約 132.9ha、浜厚真地区 約 8.5ha

凡 例	
臨港地区(編入前)	1,823ha
臨港地区編入箇所	142ha
臨港地区(編入後)	1,965ha

0 1000 2000 3000m

苦小牧圏都市計画臨港地区 計画図

